

47年振りに 山の上に集いて 友と讃美する

石澤ひろみ（保育科第17回生）

47年前に保育科を卒業したクラスメート4人が、なつかしいあのお山に向かいました。それぞれの人生には一人一人の歴史が色濃く刻まれており、様々な思いが交錯する年齢にもなっております。

農伝のことを今まで心に思いながらも、仕事に、社会に、子育て等にと向きあい必死に生きてきた現実の中で、母校のことを心に留めおくことが難しい状況でもありました。今やっと、なつかしむ気持ちが沸きあがってきたのです。

11月1日の夕刻、なつかしいあのお山は、風やさしく吹き、そして匂いたち、心地よく私たちを迎えてくれました。歴史を長く刻んだ学校は、変化しているところもあれば、私たちが過ごしたあの頃のままところもあり、なお一層、心をふるわせてくれます。



チャペルにて。左から、羽根田真理子、下川恵子、筆者、徳島恵子（皆、保育科第17回生）。

チャペルで友の弾くオルガンに合わせて讃美しました。廃科にむかっていた厳しい状況下の保育科生生活の思い出は尽きません。新しくなっていた寮ゲストルームでの一泊は良い時となりました。

翌日は山梨で待っていてくれる友を訪ねました。一人一人の現在（いま）に、いろいろなかたちで神さまが共にいてくださることを確認しあう旅となりました。

強い時も、弱い時も、うれしい時も、さみしい時も、これからもすべて神さまに導いていただきたい、そして委ねていたい。農伝のお山は大切なことをあらためて私たちに伝えてくれました。

感謝して。

グリーンチャペルへの道をウイットマー校長夫妻と歩く。



9月22日 日野台教会

一日農伝デー

1953年9月26日に洞爺丸事故で、農村伝道神学校初代校長であったアルフレッド・ラッセル・ストーン宣教師が亡くなられてから66年。農村伝道神学校を母体として、その創設の地で出発した日野市の日野台教会で2年に一度、9月26日近くの日曜日に「一日農伝デー」が開催されています。今年は禿準一理事長から「涙の種まき、喜びの刈り取り」と題した詩編126編1節～6節での礼拝説教のあと、本田栄一先生の司会で教会員から貴重なお話も伺えた愛餐会。午後はウイットマー校長が画像を交えた講演「A.R. ストーン宣教師とカナダ合同教会」を行ないました(写真上)。ストーン宣教師の農民信条「しっかり土に足をつけた農民」などが『海のレクイエム』(新堀邦司著、日本基督教団出版局1989年)から紹介され、農村伝道神学校ホームページ「創立」にあるストーン像と結びつきました。愛餐会で後援会の活動、「ひとつぶ献金」はじめ多くの献金に支えられていることに感謝し、農伝グッズもたくさん購入いただきました。

日曜日のため農伝生があまり参加できませんでしたが、2年前に参加した横内美子3年生が午後から駆け付け、カナダ合同教会の初めての女性信徒議長(1986-1989)やオーブン聖餐などのお話をともに聞き、2年間の神学校での歩みと「一日農伝デー」の感想を述べ、稲田勝之牧師のお話(写真下)で農伝70周年の年の「日野台教会一日農伝デー」が閉じられました。多くの教会や集まりで「一日農伝デー」「半日農伝デー」が開催されますことを願っています。

長谷川りゑ子(後援会事務局長)



地域の教会イベントに参加しました

9月16日 鶴川北教会

つるきたフェスタ2019～ウイットマー先生による音楽とお話のひととき～

「剣を打ちかえて鋤とする日がくる。
やりを打ちかえて鎌とする日がくる。
みんなが怖れずに生きられるために」ウイットマー校長がギターで語ったたくさんの歌の一つです。「食べ物を作ることは平和をつくる、人を生かす」の言葉とともに心に響きました。

戦争体験の「語り部」アレン・ネルソンさんとの活動の話では、戦争後遺症、PTSDを18年かけて治療したネルソンさんが日本に戻ったのは「沖縄からベトナムに行ったから」と言われました。

鶴川北教会の田中雅弘牧師が農伝始業講演でウイットマー校長のお話を聞かれたことから、今回の音楽とお話「神様の愛を分かち合いましょう」が始まりました。

ミニバザーでは農伝ハガキや「聖書物語カード」などと、『世界の食卓から平和を祈る、手づくりレシピ本〈英・日対訳〉』を皆さまにたくさん買っていただきました。



撮影 / farbre

10月14日 鶴川教会

鶴川教会バザー&ミニコンサート

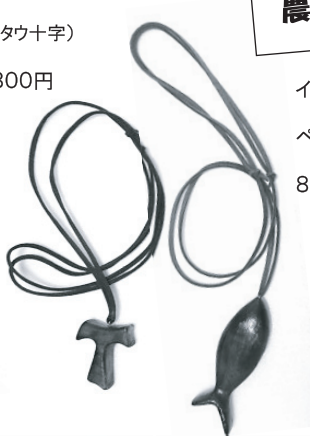
毎年、農伝後援会コーナーを設けていただいています。雨でしたが、中高生会は外のテントでフランクフルトとタピオカティ、こども会は屋内でビニールプールにお楽しみ袋など賑やかななかで、後援会グッズ工房・子ロバの会の新作、イクトゥス(魚)の木製ペンダント、70周年記念の絵ハガキセットなどを並べ、保育科卒業の教会員と一緒に販売できました。

震災被災者支援と近隣福祉施設に利益金の一部を寄付している鶴川教会バザーのもうひとつの特長は、礼拝堂でのミニコンサート。30分程、2回の演奏で、売り子も交替で楽しめます。しかも飲食可で喫茶コーナーのお菓子やお茶など持ち込めるのがうれしい。今年はカリブ海生まれのドラム缶の楽器スチールパン、本物のドラム缶が楽器になり優しい音色を礼拝堂に響かせました(写真)。「辺野古埋め立てNO!」署名も集めさせていただき、新たな出会いもありました。



農伝オリジナルクリスマスグッズ

エゼキエルの十字架
(タウ十字)
800円



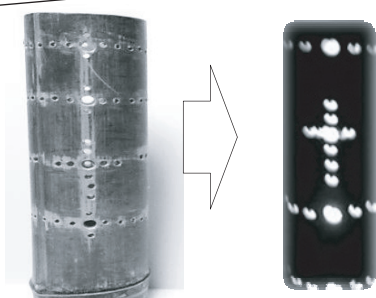
イクウス
ペンダント ループタイ 1000円
800円



木の十字架
600円



暗闇の中でオレンジの
灯りがともります



竹キャンドルケース(キャンドル付き) 500円



農伝オリジナルクリスマスカード
です。農伝風景、大人用、こ
ども用など色々あります





ご注文、お問い合わせはTel 042-735-5775 (農伝事務所) にお電話下さい



バトンを繋いで

後援会実務会委員 古川力也

農伝に直接関わって丁度20年、関わり始めた翌年、それまで農伝卒業の牧師によって運営されていた後援会に「信徒が加わる必要がある」とのお話があり、誘われて「小さなサポーターとして」ご奉仕することを決心しました。このことを記した後援会だより50号2002年9月10日を懐かしく読み返しました。

その後2004年6月(57号)から、それまで岩高澄牧師が担って来られた事務局長を受け継ぎ後援会のご奉仕を今まで続けて来ることが出来ました。かかわれば関わるほど農伝に関わる皆さんのご努力と熱い思いに接し改めて、後援会活動の大事さが日増しに強く感じつついつの間にか20年が経過しました。

5年ほど前から、この学校を支える大事な仕事を早く世代交代し、少しでも後援会の働きが滞らないように、事務局長をどなたかに引き継がなくてはとの思いを強くしていました。幸い2015年より、それまで聴講生であった長谷川りゑ子さんが実務会委員に加わって下さり、学生との連携、後援会活動の視野が広がり、機動力の拡大、事務局業務のサポート等々、後援会の働きの大きな力となって頂きました。この間も聴講生として学び、農伝の他での多くの活動をされている長谷川さん

へ、後援会へのこれ以上のお願いを躊躇しつつもタイミングを見計らっていましたが、今年度1年間のオーバーラップ期間を経つつ、事務局長へのバトンを繋げることのご承知を頂きました、とても感謝です。

後援会の役目は、一人でも多くの皆様に農村伝道神学校を覚えて支えて頂くことと、尊い献金をお願いし学校へ届けることです。この事のために、後援会として出来る事を実務委員会で協議し、後援会長、校長、理事会への提言などを行いつつ運営にあたっています。どうぞ引き続き後援会の活動をご理解頂き、農村伝道神学校をお支え下さい。

♪♪農伝支援コンサートのご案内♪♪

恒例のムジカ・フェリチタによる、バロックコンサートを開催しますのでご予約ください。

♪開催日時 2020年3月7日(土) 14時開演

♪場所 日本キリスト教団まぶね教会

♪入場無料(会場にて募金箱を設置致します)

♪会場で70周年記念グッズなど多数販売致します

2019年度 農村伝道神学校後援会会計報告

2019年9月1日～2019年10月31日（ ）内の数字は回数で、金額はその合計です。

後援会献金（団体）	梶原ふく江	5,000	合計 27 件	埼玉和光教会	5,000	記念日他献金（個人）	原田 敏幸	3,000	
	片山 禎二	5,000	金額 215,000	三・一教会	15,980		見満かおる	3,000	
	鎌倉恩寵教会	5,000	記念日他献金（団体）	清水ヶ丘教会	30,000		岩崎 和子	5,000	
	シオン幼稚園クロー			石神井教会	11,800		岩田雅一・岩田厚子		
	バーの会	12,000		秋南教会	10,000			10,000	
	信濃町教会	100,000		仙台北三番丁教会			植木 献	20,000	
	信濃村教会	5,000			20,000		小田部進一	3,000	
	下ノ橋教会	10,000		善通寺教会	5,000		金井 良樹	10,000	
	鶴川教会	30,000		茅ヶ崎教会	10,960		木下 良子	5,000	
	日本キリスト教団千			千葉教会	30,000		郡 恭子	5,000	
葉支区婦人部	10,000	田辺登喜子	2,000	名古屋新生教会	5,000	小林利明・恒子	4,000	生田教会	80,200
日本基督教団中部教		中山 昇	10,000	名古屋中央教会	20,000	鷺 美恵子	5,000	荻窪教会	49,700
区三重地区婦人部		原 誠	2,000	八戸北伝道所	14,500	佐々木和子	1,000	上大岡教会	14,700
	5,000	廣田 昭信	10,000	原宿教会	10,000	佐々木和子・英之助		鶴川北教会	50,000
野方町教会	20,000	福澤 益代	5,000	東梅田教会	30,000		3,000	日野台教会	18,300
百人町教会	5,000	藤田 純子	3,000	藤沢教会	27,000	菅野 豊子	3,000	横浜二ツ橋教会	
合計 10 件		三浦きょうこ	3,000	幕張教会	30,000	高倉 謙次	5,000		17,300
金額	202,000	三宅 宣幸	10,000	室町教会	5,000	高橋 とも子	5,000	合計 6 件	金額 230,200
後援会献金（個人）	202,000	宮島 利光	10,000	山口信愛教会	13,500	張 連 淑	10,000		
		安永 直美	5,000	横浜港南台教会		辻井武志・嗣子	3,000		
		柳田 雅江	10,000		20,000	津村有紀子	5,000		
		山田 嘉三	5,000	若松浜ノ町教会	5,000	西岡昌一郎	5,000		
		ロバート&圭子ウィッ		合計 37 件		西村保與子	15,000		
		トマー	20,000(2)	金額 513,137	林仲吉・誠子	5,000			

事務局だより

◇9月上旬の台風15号で神学校研修棟の屋根が大きくめくれ、倒木や農場の水害などに教師のもと神学生総出で手当てに当たりましたが、その後、写真のように研修棟に足場が組まれ当面の修繕だけでも250万円以上かかる大変な被害額となったようです。さらに屋根内部の調査が進むと総額が明らかになるとのことです。

◇保育科第17回生4人が北海道、群馬県などから47年振りに母校を訪ね寮に泊られ「70年の歩み」写真が展示されたストーン館、農場などで過ごし後援会だよりへの寄稿をいただきました。廃科の二年前に入学され厳しいときに学ばれた保育科生が仕事や社会で活躍され、いまま施設や地域で活動されておられます。◇教会バザーで農伝支援グッズを販売させて頂いています。12月6日（金）17時からのアドベント礼拝の前後もキャンドルホルダーなどを販売いたします。◇15年間、後援会事務局長を担われた古川力也さんからバトンを引き継ぎ学んでいます。



被害箇所調査中の研修棟

古川さんは引き続き実務会委員として、後援会グッズ工房子ロバの会で新作グッズを開発されます。グッズづくりお手伝い、販売ご協力、実務会委員に加わってくださる方、お問い合わせをお待ちしています。

◇神学校日に尊い献金を多く寄せて頂きました。下記に献金状況をご報告致します。前年度に比べ一層厳しい状況です。引き続きお支え下さいますよう、宜しくお願いいたします。

（事務局 長谷川りゑ子）

2019年度後援会会計報告

2019年4月1日～2019年10月31日現在

収 入（献金・他）					前年同 期比 （％）
献金区分	2019年度（4月～10月）		前年度同期		
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	
後 援 会 費（団体）	20	494,250	27	655,642	75%
〃（個人）	93	760,600	146	1,561,500	49%
記念日他献金（団体）	46	768,285	55	745,203	103%
〃（個人）	70	483,000	115	1,038,358	47%
ひとつぶ献金（団体）	21	765,200	16	637,200	120%
グッズ / コンサート		144,650		136,000	106%
合 計	250	3,415,985	359	4,773,903	72%

発行 農村伝道神学校後援会 会 長 島 しづ子 事務局長 長谷川りゑ子
〒195-0063 東京都町田市野津田町2024
TEL 042-735-5775 FAX 042-735-5711
E－メール：noden@pony.ocn.ne.jp
ホームページ：https://noden.ac.jp/
振替番号 00120-6-24418